

(保護者アンケートから)

● 「子どもが成長したな。」「我が子は温かい心をもっているな。」と感ずること

【1年】

- ・平仮名、片仮名ができるようになり、日常でも外の看板などを見て、「読める字がある。」と声を出して読んでいます。
- ・友達のよいところを見つけてあげられるようになったことです。

【2年】

- ・弟に小学校の様子を楽しく教えて、来年の入学を楽しみにしてくれています。
- ・漢字ノートの花丸と先生のコメントを楽しみにきれいに書くようになりました。



【3年】

- ・家庭の中で、お手伝いを積極的にしてくれたり、親に対して感謝の気持ちを言葉にしてくれたりして、とても癒やされます。
- ・自分のことは自分でする姿がいろいろな所で見られるようになりました。

【4年】

- ・自ら集合時刻を確認し、時計を見ながら行動できるようになりました。
- ・今までやってもらって当たり前だったことも、自分でやったり「ありがとう。」と言えるようになったりして、とても嬉しかったです。
- ・家族に対して温かい声かけをしているところを見ることが多くなりました。

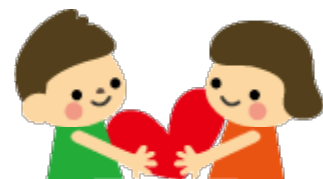
【5年】

- ・自分より小さい子(年下)の目線になって行動や会話ができるようになりました。
- ・同年齢だけでなく、上級生や下級生のことも考えて話をしたり、考えたりする姿が見られるようになりました。上級生としての意識を持っていてくれて嬉しいです。
- ・自分のことは自分で判断できるようになりました。

【6年】

- ・下級生を引っ張っていこうという気持ちが出ています。
- ・いろいろな行事で進行やアイデアを考えて、いい経験をして成長していると思います。
- ・周りの意見を受け止めて意見が言えるようになりました。
- ・目標を立て、自分のできる限りの努力をしようという姿が見られました。我が子のがんばる姿に目頭が熱くなりました。
- ・どこへ行っても、小さい子を優先してあげることができていて感心します。
- ・学校で行われている全ての行事で、先生方と子どもたちが1つにまとまって、子どもたちの個性を生かしながら取り組んでいるため、協調性や思いやりが伝わってきました。

\*小さなあらわれも子どもの「成長」として認めてくださり、とてもありがたいです。



## ● 楽しかった親子読書のエピソード【毎月23日は読書の日】

### 【1年】

- ・「しゅくだい」という本を借りてきました。本の中でだっこの宿題がありました。本を読んだ後、うちでもだっこの宿題をやりました。
- ・「今日は何冊読んでくれる？」と夜寝る前に親子読書で親と子の心のふれ合う時間が増えました。



### 【2年】

- ・一緒にベッドに入って読もうとすると自分がうとうとしてしまい、兄弟で大笑い。「僕が読んであげるから寝てていいよ。」と言われてしまいました。
- ・小さい頃読んであげた絵本を妹たちに読んであげてくれて嬉しいです。

### 【3年】

- ・子どもが選んだ本を1ページずつ交代で読んでいます。子どもが笑顔で読んでいる姿を見て、たまには手を止めて親子の時間を増やし、子どもの笑顔を増やしてあげたいと思います。
- ・1行ずつ代わりばんこに本を読んだことが楽しかったです。

### 【4年】

- ・本に興味を持ち、学校の図書室からも本を借りてくるようになりました。
- ・毎晩寝る前に1冊読んでいます。絵本の中で、痛い、まずい、気持ち悪いというような内容が出てきたときに、顔の表情がそのように変わるので、自分に置き換えて絵本の内容にすっと入っていく姿がとてもかわいらしかったです。

### 【5年】

- ・弟や妹のために絵本を読んであげている姿に感動しました。
- ・意味がわからないところを詳しく聞いてきたことに対して、こういうことだよと例を出して説明することで、話題がいろいろ出て楽しく過ごすことができました。
- ・好きな本、読んでみたい本を家族で紹介し合いました。

### 【6年】

- ・2週間に1度、父親と図書館に行って本を借りています。興味のある本を借りてきては、親子で話がはずんでいます。
- ・宮沢賢治を学習した流れで、銀河鉄道の夜の話から父親と作者の話をしたり、図書館に借りに行く話をしたりしていました。
- ・本や漫画、新聞をきっかけにして、普段あまり話さないような内容の話ができました。

※親子読書をきっかけとして、親子の会話が生まれている様子があり、とても素敵です。



## ● 大淵小の子どもたちの良いところ

### 【1年】

- ・あいさつ運動に行ったとき、係の子どもたちと仲よさそうにタッチしていていいと思いました。
- ・就学時健診の時の5年生がとても優しくかったです。優しい子が多いと思います。
- ・登校の時、荷物を一緒に持ってくれたり、ゆっくり歩いてくれたりします。
- ・上級生が下級生の面倒をよくみてくれています。

### 【2年】

- ・登下校時や地域の行事で会った時など、大きな声であいさつができるところがいいと思います。
- ・違う学年の子どもたちにも声をかけてくれ、異年齢の子との交流があつていいと思います。



### 【3年】

- ・横断歩道を渡る時、停まってくれた車の人に、いつも大きな声であいさつをしているのを見ると、とてもいい気持ちになります。
- ・上級生と下級生のつながりが深いところがすばらしいです。下級生は上級生の姿を見て自然とまねしているので、ずっと続けてほしいです。

### 【4年】

- ・縦や横のつながりも強く、子どもたちで考えて行動できていて感心します。
- ・時々子どもたちを車で家まで送るのですが、皆気持ちのよい元気な声で「ありがとう。」を言ってくれます。
- ・年齢、男女関係なく地区の子ども同士で仲良く遊んでいるところがいいです。



### 【5年】

- ・話す人を見ながら、人の話がきちんと聞ける子が多くていいです。
- ・いつでもどこでも笑顔であいさつできています。
- ・仲間意識が高いところがいいです。

### 【6年】

- ・下校中すれ違うときに子どもたちが、「こんにちは。」と元気にあいさつをしてくれました。
- ・困っている人を助けたり、気遣ってあげたりしてみんな優しさを持っています。
- ・高学年の子が低学年の子のお世話を頑張っている様子が見られました。自分たちがしてもらったことを6年生になってやってあげる姿は、6年間の成長の証になると思います。
- ・地区の行事などで、異年齢みんなで仲良く遊ぶことができている面が見がいいです。

※この他にも同様の御意見がたくさんありました。  
ありがとうございました。